

これまでに送り届けた国々

累計 21ヶ国 3,250台 2013年6月15日現在

# 世界の肢体不自由の子どもたちに動ける喜びを。



## 提供する

- ・使われなくなった子ども用車いすをおゆずりください。
- ・首都圏特別支援学校PTAから無償で収集しております。
- ・個人の方は送料で負担をお願いしています。

送り先 福生市加美平3-7-3 森田祐和 宛



## 活動する

- ・会員でなくとも洗浄整備等の作業に参加できます。
- ・毎月第3日曜日に例会で整備作業を行っています。
- ・参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所 福生市熊川979 交運社敷地  
(青梅線牛浜駅下車5分)

あなたのサポートを求めています



## 会員になる

- ・会員としての活動への参加をお待ちしています。
- ・年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。
- ・入会希望者には入会申込書をお送りします。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966 海外に子ども用車椅子を送る会  
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782 海外に子ども用車椅子を送る会



## 寄付する

- ・国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- ・海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1万円かかります。

お振込先

多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782 海外に子ども用車椅子を送る会

# 海外に 子ども用 車椅子を 送る会



## インドネシアジャワ島の子どもたちへ 初めての車椅子を

150台・2013年2月

2013年2月18日に、ジャワ島中部8つの県の子も達代表、保護者、福祉関係者とスラカルタ市(ソロ市)市長代理の議長や福祉団体幹部等75名を招いて、150台の車椅子の贈呈式を行いました。全員初めて見る日本の車椅子に驚きと感謝。(このプロジェクトは外務省日本NGO無償資金協力の支援を受けて実施され、日本大使館公使のメッセージが代読されました。)



(左) CBR開発訓練センターのセンター長、ママン氏も両足に障害を持っていますが幅広く活動。

(右) 子どもの病状や身体測定をして適合する車椅子を決める物理療法士によるフィッティング作業。



フィッティング作業の間弟はだまって兄の手を握っていました。



メリカちゃん7歳と家族。  
オノギリ地区のどかな自給自足の農村地域で徒歩数分の近所同士でした。



アイナルちゃん8歳と家族。



キアラちゃん6歳と母親。祖母の食堂の店先で、食堂のお客さんも車椅子に注目していました。

## 昨年に引き続いてタイの子どもたちへ

80台・2013年2月

2013年2月21日にタイ障害者協会を通じて車椅子を受け取る4地域の代表の子も達と保護者、福祉責任者、そして日本大使館からは公使と一等書記官が出席し、贈呈式を行いました。現地関係者からは、今後もこの貴重な活動を継続して欲しい、と要望されました。翌日は車椅子を受け取ったバンコク郊外のアントーン県の二人の子も宅を訪ねました。



タイ障害者協会のプレジデントのキティポン氏(右端)も障害を持っています。



フィッティングが終わり自分の車椅子を受け取った子ども達



初めての車椅子の座り心地を何度も試していました。保護者からは繰り返し感謝の言葉が聞かれました。



チチャコムちゃんと、一緒に畑仕事に行けると話す祖父。後ろは地域の世話役の人達。地域ぐるみで障害者の世話をしており、CBR(地域に根ざしたリハビリテーション)が実践されています。



8歳のチャナパちゃん、世話をしている親戚。背中の矯正用のコルセットを着用していても動きに不自由でなく週3回のリハビリにも行けるようになったとよこんでいました。

